

ARSI300GA

国際社会演習一人種・民族・宗教紛争研究一

中島 成久

配当年次／単位：3～4年／4単位

旧科目名：

旧科目との重複履修：

毎年・隔年：毎年開講 | 開講セメスター：春・秋

人数制限・選抜・抽選：選抜

他学部への公開：×

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

このゼミでは担当者が学部・基礎科目で行っている「文化人類学」「文化人類学方法論」「国家と民族」「地域紛争とエスニシティ」「他者イメージ論」「東南アジアの文化」で展開した議論を、さらに詳しく検討することを目指している。

現代世界で深刻な問題となっている人種・民族・宗教に絡む紛争を多面的に検討する。

【到達目標】

このゼミで学ぶ学生は、人種・民族・宗教に関する基礎的な知識を必要とされているが、閉じた小さな世界を対象とするのではなく、紛争という形で現れてきた現象を、国家、多国籍企業（資本）、歴史などとの関係で位置づけることを目指す。

ゼミの共通テーマとして、「熱帯林の資源管理と紛争」を掲げ、春学期はそのテーマに関する文献を共同で読み検討する。夏休みには、ゼミ旅行として、インドネシア、スマトラ島ブキットラワンで行われているオランウータン保護活動とエコツアーに参加し、問題を詳細に検討する。

さらに、ゼミ全体のテーマとは別に個人の研究テーマを見出し、深く学んでいくことも目指している。

【授業の進め方と方法】

ゼミは共通テキストの講読、夏のゼミ旅行（インドネシア）、国際文化情報学会での発表、それに個人研究の推進という構成で進められる。

春学期は、夏の研修に向けての共通テキストの講読を行う。秋学期の前半はその経験を下に秋の国際文化情報学会で発表できるようまとめを行う。その後は、個人の研究発表を3年生、4年生に行ってもらい、最終的にはある形にまとめていくことを目指す。

【授業計画】

春学期

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	顔合わせ、自己紹介、ゼミの内容の説明と担当者の決定
第2回	アブラヤシ開発①	DVD「森の慟哭」視聴
第3回	アブラヤシ開発②	中島論文「クリンチ・スプラット国立公園のスクウォッター」
第4回	アブラヤシ開発③	中島論文「アブラヤシプランテーションをめぐるヘゲモニー関係」前回の続き
第5回	アブラヤシ開発④	『BIOCITY—消えた熱帯林とプランテーション』①
第6回	熱帯林破壊と住民の生活①	『BIOCITY—消えた熱帯林とプランテーション』②
第7回	熱帯林破壊と住民の生活②	『熱帯アジアの森の民』
第8回	熱帯林破壊と住民の生活③	『開発の人類学』
第9回	熱帯林破壊と住民の生活④	『熱帯林の紛争管理』
第10回	熱帯林破壊と住民の生活⑤	『資源と人間』
第11回	資源管理をめぐる問題①	『紛争の海』
第12回	資源管理をめぐる問題②	『天然資源をめぐる政治と暴力』
第13回	資源管理をめぐる問題③	
第14回	まとめ	春学期に学んだことの整理と検討

秋学期

回	テーマ	内容
第1回	夏休み研修の成果発表①	インドネシア研修参加者の発表①
第2回	夏休み研修の成果発表②	インドネシア研修参加者の発表②
第3回	夏休み研修の成果発表③	インドネシア研修参加者の発表③
第4回	国際文化文化情報学会に向けての準備①	研究発表のテーマの絞り込みと関連文献の講読①
第5回	国際文化文化情報学会に向けての準備②	研究発表のテーマの絞り込みと関連文献の講読②
第6回	国際文化文化情報学会に向けての準備③	研究発表のテーマの絞り込みと関連文献の講読③
第7回	国際文化文化情報学会に向けての準備④	研究テーマの分担と深化①
第8回	国際文化文化情報学会に向けての準備⑤	研究テーマの分担と深化②
第9回	国際文化文化情報学会に向けての準備⑥	研究テーマの分担と深化③
第10回	国際文化文化情報学会に向けての準備⑦	発表の予定演習
第11回	個人研究発表①	4年生①
第12回	個人研究発表②	4年生②
第13回	個人研究発表③	3年生①
第14回	個人研究発表④	3年生②

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- 1 テキストの予習復習
- 2 図書館などで関連文献を調べ理解を深める
- 3 自分のテーマを日ごろ深め、必要な文献を読み、レベルアップに日々努力すること

【テキスト（教科書）】

中島成久 「クリンチ・スプラット国立公園のスクウォッター：ジャンピ州ムランギン県調査報告」『インドネシアニューズレター』第96号、2018年
 中島成久 「アブラヤシプランテーションをめぐるヘゲモニー関係」『異文化』第17号、2017年
 安田雅俊他 『熱帯雨林の自然史、東南アジアのフィールドから』2008年、東海大学出版会
 山田勇編 『森と人のアジア』1999年、昭和堂
 池谷和信 『熱帯アジアの森の民』2005年、人文書院
 信田・真崎編著 『東南アジア・南アジアの開発の人類学』2009年、明石書店
 原田一宏 『熱帯林の紛争管理』2011年、原人社
 内堀基光 『資源と人間』2007年、弘文堂
 秋道・岸上 『紛争の海』2002年、人文書院
 森下明子 『天然資源をめぐる政治と暴力』2015年、京都大学学術出版会
 『BIOCITY—消えた熱帯林とプランテーション』2015 No63

【参考書】

随時紹介する。

【成績評価の方法と基準】

平常点

【学生の意見等からの気づき】

ゼミでの議論をどう活発にするか、アクティブラーニングなどを積極的に導入する。

【学生が準備すべき機器他】

- 1 発表時にはパワーポイントを使うこと。
- 2 テキストの情報だけではなく、テキストを「読みこなす」ことも必要である。
- 3 インドネシア研修の企画

管理 ID：
1805013
授業コード：
C1132